



ぐるっとマップ

No.28 塩の道 **保存版**

マップ作成: NPO法人ぐるっとネットワーク大町

10km



塩の道とは...

人の生命維持に欠かせない「塩」が運ばれた道を「塩の道」と呼ばれています。
「塩の道」は全国各地に残っていますが、中でも私たちに身近な、
糸魚川から大町を経て松本に至る道が有名です。

この道を私たちは

「千国街道」とよんでいます。
歴史的には「千国街道」という名前が多用されます。
古くは「千国道」とよばれ、
江戸時代には「糸魚川街道」とか「松本街道」とよばれていました。

この道を通じて日本海側からは塩や海産物、衣料品や陶器などが運ばれ、
遠く都からは文化ももたらされました。
信濃からは麻や煙草、穀物などが運び出されました。

江戸時代、この道を運ばれた塩の多くは、竹原や瀬戸内海産で、
北前船で江戸・糸魚川まで運ばれ、
糸魚川藩指定の「信州問屋」6軒が、この塩の運搬を一手に取っていました。

片の背に背負って信越国境の山坂を越え、小谷の千国番所で
荷物改めを受け大町に到着し、ここで一部は販売に回され、
多くは荷継ぎをして馬などに積まれ松本へと向かいました。

江戸時代の後期には、海産物の通行量が増加し、
特に塩漬の魚を運ぶために「巻師」が活躍しています。

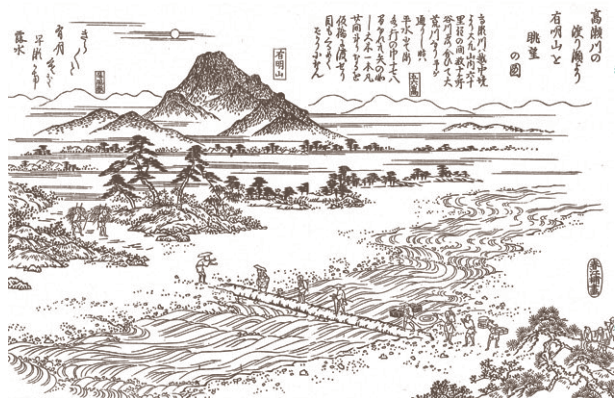
また、松本から大町の間は、善光寺へ向かう「善光寺街道」の
別ルートとしても利用されしばしば著名人も通行しています。



善光寺道名所図会より、木崎湖付近

⑨ 森城

湖に飛び出した地形を巧みに利用しており、戦国時代まで
この地方を支配していた仁科氏が拠点とした城です。
当初この付近を通過していた塩の道も江戸時代の後半には対岸を通るようになり、
『善光寺道名所図会』には、対岸から眺めた風景が描かれています。



善光寺道名所図会より、高瀬川一本橋付近

⑬ 有明山

「信濃富士」の異名をもつ有明山は都府にまで知られた名山。
『善光寺道名所図会』には、有明山を眺めながら恐る恐る
高瀬川に架けられた「一本橋」を渡る旅人の姿が描かれています。

このマップでは、四季折々の地域の魅力を再発見するために、
皆様から情報をいただきながら、様々な切り口で紹介しています。
次号のテーマは「池田ウォーキング」です。

関連情報をぐるっと事務局までお寄せ下さい。

ぐるっと事務局: TEL 0261-85-0556 FAX 0261-85-0557

※このマップは、HPからダウンロードできます。HP <http://www.gnitta.net>



① 大網

仁科盛信により戦国時代の終わり頃、新しい塩の道ルートの宿場として
開かれた村で、江戸時代には荷継所が置かれていました。

② 地蔵峠、三坂峠

古くから使われてきた塩の道「千国道」のルートで、
地蔵峠には貞享4年に旅の安全を祈ってまつられた地蔵菩薩が立っています。

③ 平倉城

姫川と中谷川の合流点にそびえ、「千国道」を眼下に見下ろす平倉城は、
弘治3年(1557)7月、仁科氏一族の飯森盛春が
武田軍の攻撃により討死した古戦場です。

④ 千国番所

松本藩が越後に備えて設けた「口留番所」。
旅人の出入りを改め、塩や海産物など街道を通過する
あらゆる物資から運上(通過税)を徴収していました。



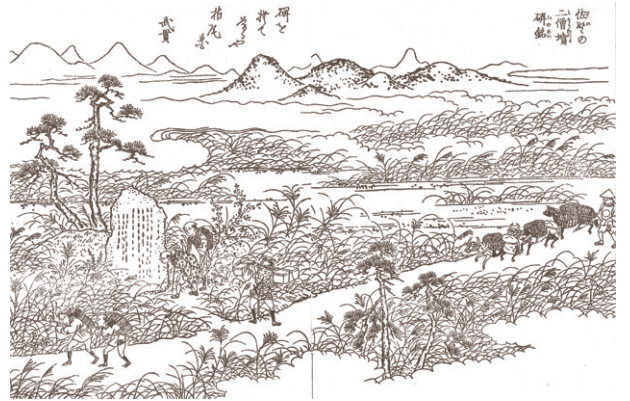
復元された千国番所

⑤ 牛方宿と百体観音

親の原には西国・坂東・秩父の百体観音(現在地に移設)がまつられ、
塩の道の面影を今に伝える牛方宿が残っています。



牛方宿



善光寺道名所図会より、佐野坂付近

⑥ 白馬三山

姫川を縫うように塩の道が続き、この付近から眺める白馬三山は絶景です。

⑦ 西国三十三番観音

青木湖の西岸、佐野坂は塩の道の難所のひとつです。
旅の安全を祈ってまつられた33体の観音像が静かに佇んでいます。

⑧ 海のお諏訪神社

木崎湖を見下ろす海のおの高台にはお諏訪神社がまつられています。
対岸の柳屋集落には下諏訪神社がまつられ、
江戸時代には湖を挟んで両岸に塩の道のルートが設けられていました。

⑩ 大町宿

江戸時代には、街道が町の中心を「カギの手形」に通っており、
街道の中央を町川が流下し、塩の道「千国街道」最大の
宿場町として物資の交易や荷継ぎなどで栄えました。
また、大町市街地にある「塩の道博物館」では、
当時使われていた用具や解説が展示されています。



塩の道博物館

⑪ 北アルプス遠望

大町市街を抜けると塩の道は東山の山腹を池田に向かいます。
途中には中世の関所や城跡、名勝清宮の滝、
国宝仁科神明宮、重文蓮華寺観音堂など文化財も多く、
大町市街を挟んで眺める北アルプスは「岳都大町」の名の通り絶景です。

⑫ 国宝仁科神明宮

平安時代の終わり頃、この地方の支配者であった仁科氏がまつたもので、
現在の本殿は江戸時代初期の建築。塩の道はこの付近から
高瀬川へ向かって下り、大町と並ぶ宿場であった池田へと続きます。

5月3日(木):小谷・5月4日(金):白馬・5月5日(土):大町で
塩の道祭りが開催されます。

足を運んで当時の風景を思い起してみたい方はぜひ。

塩の道祭りお問合せ先 小谷:小谷村観光連盟 82-2233

白馬:白馬村観光局 72-7100 大町:大町市観光協会 22-0190

今回のマップは、荒井今朝一さんに監修いただき作成いたしました。

※このマップは、2012年4月27日付の大糸タイムスに掲載されました。
※情報は掲載当時のものです。ご注意ください。